

E・O・ヘディ他編

『農産物供給函数—推計方法と解釈—』

速水佑次郎

本書 (Agricultural Supply Functions—Estimating

Techniques and Interpretations, edited by E. O. Heady

et. al, Iowa State College Press, 1961.) は農産物供給分析

特に供給函数の計測に関する二十三人の学徒の寄稿から成立し

てゐる。これらの論文はすべて Farm Foundation をスポンサ

ーとしてシカゴで開催された North Central Farm Management

Research Committee 主催のシンポジウムにおける報告な

らびにコメントであつて、農産物の供給反応の推計に関して過

去の方法と成果を評価し、今後開発されるべきアプローチの検討

をおこなつてゐる。

二十三の論稿は、六章にまとめられてゐるが、Heady の序

書評 E・O・ヘディ他編『農産物供給函数—推計方法と解釈—』

論(第一章)と Stanforth の要約(第六章)には含まれた四つの章がその主体である。

第二章と第三章はそれぞれ供給分析に関する二つの基本的な接近方法を取り扱つてゐる。前者は伝統的な方法、すなわちアグリゲイトされた時系列データに基づく供給函数の統計的計測である。供給分析におけるこの接近法の問題は、技術進歩や制度的変化などのシフト要因の影響をいかに排除して、農産物供給の価格反応を正確に計測するかであり、さらに積極的にはシフト要因をいかにモデルに採り入れるかである。Learn と Cookrane はかかる要因のうち供給曲線を平行的にシフトさせる要因と非平行的に変化させる要因(構造変化要因)とを区別し、後者の影響の重要性と取扱ひの問題点を一般的な言葉で論じてゐる。

構造変化要因を積極的にモデルに採り入れるところみとして Nerlove の論文がある。一面からみて構造変化要因の影響は農民の価格反応におけるタイムラグや将来期待の変化としてとらえられる。この点に関して Nerlove は、(1)供給の価格反応の差異を固定資本装備の差異によって理解するための理論模型、(2)農民の行動原理に関する一定の経済仮説に基づいた期待模型を提出している。後者の例として彼が挙げてゐる Muth の合理的期待仮説 rational expectation hypothesis に基づく模

型は特に興味深い。

時系列データに基づく供給予測の新方法として Day は逐次計画法 recursive programming を提案している。この方法は、時系列データによって推定された土地利用の変動係数をもとにして、土地利用のパターンを逐次的に算出する。

第二章で取扱われた時系列分析は供給予測のために最も直接的な接近法であるが、推計上の困難と供給関係をその内的メカニズムから把握したいという要請とによって、第三章の規範的接近の必要が生ずる。規範的接近とは実験データ、サーベイ・データ等によって生産関係を推定し、農家の利用極大化行為を仮定して供給の価格に対する反応関係を導出する方法である。

Kerberg, Lofsgard, G. Johnson の三論文はそれぞれ規範的接近の三方法、(1)生産函数、(2)線型計画、(3)パジエティングについて論じている。

規範的接近は時系列接近にまさる長所を有しながら、直接将来予測に用いることが出来ない。ミクロ・データによる推計結果のアグリゲーション、クロスセクション推計の予測力等の問題に加えて、規範的接近は農家が通常利潤極大の原理に従って行動しないゆえに現実との乖離を生ずる。それゆえ将来予測を行なうには、規範的分析の結果を農民の行動原理についての実態的知識によって補完せねばならない。第五章——供給函数の

解釈——はこの点の議論が欠けているように思われる。

供給分析の一分野として農業生産の地域間競争の問題、あるいは農業生産の地域間分布を予測する問題が重要である。第四章の諸論文はサミエルソン、フォックス流の地域均衡模型 spatial equilibrium model を中心としてこの問題を取扱っているが、特に論ずべき独創的な見解は見当らない。

巨大な過剰農産物の重圧にあえぐアメリカ農政はその諸施策、特に支持価格政策の基礎資料として農民の供給構造に関する計量的把握を必要としている。かかる現実的要請を背景として、農産物の供給分析は次第にアメリカにおける農経学徒の興味と研究努力の中心的対象となりつつある。本書はこの分野における諸家の見解を総合して前進への踏み台を提供しているが、そこには現在における農産物供給分析の方法論的不備と今後の発展の可能性とが同時に示されているといえよう。